

RID2690 次期地区会員増強・R財団 合同セミナー
(2015. 5. 30. 土 13:00～)

RID2770 PDG (2000-01) / RI TL
田中 徹夫

次年度会長・幹事の皆さま・会員増強委員長・そして、R財団委員長の皆さま、
こんにちわ！！ 本日は、会員増強・R財団 合同セミナーにお招き頂きまして、
ありがとうございます。

私は、埼玉から参りました・・・2000—01年度のPDGの田中と申します。

10年前の2005年には、当地区の**延原 正** パストガバナーと講師の**市川伊三夫** パストガバナーには、アメリカ・カルフォルニア州・アナハイムにて、大変お世話になりました。ここ岡山で、お会いできて、大変うれしく思っております。

今日は、出来ましたら、皆様と意見交換をしながら、話を進めていきたいと思っております。

こちらからご質問もいたします。

何か感じたこと・・・何でも・何時でも結構ですので、手を上げてください。

又、こちらから、ご指名させて頂くかも知れません。

よろしくお願い致します。

今、日本では、増強が叫ばれています。世界でも同様です。

特に、日本にとっては、会員の増強は、ロータリーの**重要課題**です。

それでは、最初に、会員数の現況を見てみたいと思います。

現在の世界の会員数は、何人だと思えますか・・・？ **何方か・・・？**

◎ 現在の世界の会員数は：約 **122万人**・・・です。

それでは、日本の会員数は、何人だと思えますか・・・？ **何方か・・・？**

◎ 現在の日本の会員数は：約 **88,800人**・・・です。

それでは、**世界のピーク時の会員数**は何人くらいだと思えますか・・・？
何方か・・・？

しかし、英語の原文には、**Object of Rotary** (ロータリーの**目的**)と書かれています。

日本語訳では、(綱領)となっていました。

ロータリーの目的がわからない理由でした。

私は、10数年前から、**Object of Rotary** は、(ロータリーの綱領)ではない、(ロータリーの**目的**)だ・・なおして下さい・・と、RI日本語課に言ってきました。

最近、やっと(綱領)が(ロータリーの目的)に、変えられました

ロータリーの目的を正確に・良く理解をし、目的達成のために、何を・どうするのかを考え・実践することが、重要であります。

会員増強のために、「ロータリーの目的」を皆様と一緒に考えてみたいとおもいます。

皆さまに、ご配布いたしました・**Object of Rotary** の英文と日本語訳をご覧ください。

原文を正訳したものです。

[Object of Rotary]

The Object of Rotary is to **encourage and foster** *the ideal of service* as a basis of worthy enterprise and, in particular, to **encourage and foster**;

First : The development of acquaintance as an opportunity for service;

Second : **High ethical standards in business and professions**; the recognition of the worthiness of all useful **occupations**; and the dignifying of each Rotarian's **occupation** as an opportunity to serve society;

Third : The application of *the ideal of service* in each Rotarian's **business**, and community life;

Fourth : The advancement of international understanding, goodwill, and peace through a world fellowship of **business and professional persons** united in *the ideal of service*;

Fifth : The development of youth's understanding of *the ideal of service* and **leadership skills** through engagement in service activities and fellowship, so that new generations can contribute to international goodwill and peace and be responsible for coming generations.

[原文の正訳]

[Object of Rotary] [Object は、目的そのものです。]

(綱領は、英語で、a general plan・principles; an outlines;・・・です。)

[ロータリーの目的]

ロータリーの目的は、価値ある職業の基礎として「奉仕の理想」を奨励することである。

特に、次の事項を奨励することである。

- 第1. 奉仕の機会として、知り合いを広めること；
- 第2. 職業道徳の水準を高めること； 全ての有用な職業は、価値があるということ認識すること； 個々のロータリアンの職業は、社会に奉仕するためにあるものと捉え、その職業の品位を保つこと；
- 第3. ロータリアンは、「奉仕の理想」を、常に意識して、個人生活・職業生活・社会生活をする事；
- 第4. 「奉仕の理想」で結ばれた職業人（ロータリアン）の世界的な親交を通して、国際理解・親善・平和を促進すること；
- 第5. 青少年に対し、奉仕活動や親睦を通して、国際親善・国際平和に貢献できるよう、「奉仕の理想」とリーダーシップ力の理解を深める。
そして、それらを、次の新世代に引き継げるようにする。

- ◎ 「the ideal of service」 「奉仕の理想」とは・・・
 - ・・・[個人生活・社会生活・職業生活・・・の中で・・・]
 - 「理想的な奉仕をすること」であり・・・
 - 「理想的な奉仕をする」とは・・・
 - ◎ 「他の人の為になることを実践すること」であり、更に・・・
 - ◎ 「他の人から感謝されることを実践すること」であります。

- ロータリーの目的を更に簡潔にまとめると

[ロータリーの目的]

ロータリーの目的は、「奉仕の理想」を奨励することである。

・・・特に、

1. 知り合いを広めること；
2. 職業道徳の水準を高め、職業の品位を保つこと；
3. 「奉仕の理想」を、常に意識して、全ての生活をすること；
4. 職業人の世界的な親交を通して、国際理解・親善・平和を促進すること；
5. 新世代の育成・・・そして、次世代につなぐ；

◎ 「[the ideal of service](#)」 「[奉仕の理想](#)」 とは・・・

[[個人生活・社会生活・職業生活・・・の中で・・・](#)]

「[理想的な奉仕をすること](#)」 であり・・・

「[理想的な奉仕をする](#)」 とは・・・

● 「[他の人の為になることを実践すること](#)」 であり、更に・・・

● 「[他の人から感謝されることを実践すること](#)」 であります。

いかがでしょうか・・・？

「[ロータリーの目的](#)」 は、理解して頂けたでしょうか・・・？

[フレーズ・単語の意味]

[encourage and foster](#) : (2つの単語を並べて) 「[奨励する](#)」 ・ で良い。
(鼓吹し、育成する・・・？)

[encourage](#) = 激励する・奨励する・強める・促進する

[foster](#) = (才能等) 育成する・養育する・助長する = [encourage to develop](#)

in [business and professions](#) : (2つの単語を並べて) [職業](#)・・・という意味です。

[occupations](#) : [職業](#)

[personal life](#) : 個人生活 [ethical](#) ; 道德上の・倫理的な

[business life](#) : 職業生活 [recognition](#) ; 認識すること [dignify](#) ; 品位を保つ

[community life](#) : 社会生活 [application](#) ; 適用する・応用する

[business and professional persons](#) : [職業人](#)・・・です。

[The development of youth's understanding](#) : 若者の理解を深める・・・高める・・・

[leadership skills](#) : リーダーシップ力(能力)・指導力・統率力・・・

[be responsible for](#) : ～に責任がある(を負う)・義務がある・責任を持つ・・・

[coming generations](#) : 次世代

それでは、「四つのテスト」についても考えてみたいと思います。

「THE 4-WAY TEST」

「**THE 4-WAY TEST** (四つのテスト)」は：

シカゴロータリーの会員 ハーバート J. テーラーが、**1932**年に、倒産寸前のアルミニウム会社を買い取り、再建をしようとした時に、会社のモラル向上のために草案したものです。

RIは、これを職業奉仕の倫理訓として使用させてもらいました。

その後、彼が RI 会長の時(1954)、RIにこの著作権を譲りました。

そして、現在、全世界のロータリアンが、職業奉仕に役立ています。

[オリジナル](英文) は：

THE 4-WAY TEST

of **the things** we **think, say or do.**

1. Is it the **TRUTH**?
2. Is it **FAIR** to **all concerned**?
3. Will it build **GOODWILL** and **BETTER FRIENDSHIP**?
4. Will it be **BENEFICIAL** to **all concerned**?

- 現日本語訳：
1. 真実かどうか？
 2. みんなに公平か？
 3. 行為と友情を深めるか？
 4. みんなのためになるかどうか？

英語圏のロータリアンは、こんな漠然とした理解をしていません。

英語圏のロータリアンは、**THE 4-WAY TEST**「**4つのテスト**」を当然、この英語そのままの意味を理解しますから・・・、
次ぎのように、理解をしています。 (**all concerned** = **関係するみんな**)

「四つのテスト」

(考えたり・言ったり・やったり)する時は・・・

(考え・発言・行動)は・・・

(事業の企画立案・宣伝・実行)は、これに照らしてから

1. 本心か？ / 嘘・偽りはないか？
2. 関係者すべてに 公明正大か？ / (フェアか)？
3. より良い支援者になつてもらえるか？ / より良い関係を築けるか？
4. 関係者すべてに 有益となるか？ / (関係者すべての利益となるか?)

自分の職業を成功・発展させる為に、我々は、自分の仕事の構想や企画・PR・実行（考えたり、言ったり、やったりすること = the things we **think, say or do**）・・・が、「四つのテスト」に適っているかどうか、照らしてみることが重要であります

英語圏のロータリアンと日本のロータリアンが、ロータリーの金看板であるこの職業奉仕の「四つのテスト」の理解が違うというのは、「変?」です。

なぜなのでしょう：（日本語訳では、「言行は、・・・」となっていますが、「言行」とは、言葉と行い、発言と行動と言う意味です。

「四つのテスト」[の「the things we think, say or do」は、単なる「言行」ではありません。日本語のニュアンスの漠然とした言行とは違います。
今あなたが、考えたり、言ったり、やろうとしていること・・・
・・・考え・発言・行動・・・

すなわち・・・職業上の企画立案・宣伝(PR)・実行(販売・サービスの提供)をするにあたって・・・この「テスト」に照らしてみるということです。

1. Is it the **TRUTH**?

1. は・・・「本心か」・・・「嘘・偽りはないか」ということです。

2. Is it **FAIR** to **all concerned**?

2. は・・・隣近所の人たちと公平か・・・?・・・とか、又、地球の隅々まで、どこに住んでいる全ての人達と、公平か?・・・というのではありません。
Fair? か とは、「公正か?」・・・「公明正大か?」です。

関係するみんな に対して、「公正か?」「公明正大か?」ということです。

3. Will it build **GOODWILL** and **BETTER FRIENDSHIP**?

3. は・・・好意と友情を深めて、お友達になろう・・・と言うことでは有りません。
今、あなたの行っている職業上の企画立案・宣伝(PR)・実行(販売やサービスの提供)は、お客はもちろん全ての人から、将来に向かって、支持され、支援を受けられますか・良い関係が築けるか・・・ということです。

4. Will it be **BENEFICIAL** to **all concerned**?

4. は・・・3と同様、隣近所や地球上のすべて・・・ということでは有りません。
お客さまをはじめ、従業員・仕入先・下請け等々・あなたに関係するみんなにとって、利益になるか・・・ということです。

「ロータリー」は、職業上において、自分の事業を発展させる上で、基本となるものです。

又、我々個人が人生を生きて行くうえで、「ロータリー」は、非常に役に立つ存在です。

「ロータリー」を良く知り・理解し・実践することが誰にとっても重要です。

ロータリーの基本は、我々一人ひとりが、より良い人生を歩むため、又、自分の職業をより良いものにする為に、我々一人ひとりに、それを実践する現場を提供していることです。

その為に、出来るだけ多くの人を会員になってもらうことによって、自分の人生・職業をより良いものにしてもらう・・・これが「ロータリー」だと思います。

会員の我々が、「ロータリー」を正確に理解し、それを実践し、この「ロータリー」のすばらしさを一般の人に知らせ、会員になりたいな・・・と思ってもらい、そして、会員になってもらい・・・会員になって良かった・・・と、感謝の気持ちが出てくる・・・こうなれば、「ロータリー」は、社会に広がっていくのではないのでしょうか？

ロータリアン一人ひとりが、「ロータリー」を社会に広げ、会員を増やしていく原点かと思えます。

最後に、もう一度、「目的」と「四つのテスト」を・・・

「目的」と「四つのテスト」

[ロータリーの目的]

ロータリーの目的は、「奉仕の理想」を奨励することである。

・・・特に、

1. 知り合いを広めること；
2. 職業道徳の水準を高め、職業の品位を保つこと；
3. 「奉仕の理想」を、常に意識して、全ての生活をすること；
4. 職業人の世界的な親交を通して、国際理解・親善・平和を促進すること；
5. 新世代の育成・・・そして、次世代につなぐ；

- ◎ 「the ideal of service」 「奉仕の理想」 とは・・・
[個人生活・社会生活・職業生活・・・の中で・・・]
- 「他の人から感謝されることを実践すること」 であります。

「四つのテスト」

(考えたり・言ったり・やったり) する時は・・・
(考え・発言・行動) は・・・
(事業の企画立案・宣伝・実行) は、これに照らしてから

1. 嘘・偽りはないか ？
2. 関係者すべてに 公明正大か ？
3. より良い支援者になってもらえるか ？
4. 関係者すべてに 有益となるか ？